



北斗市

社協だより

第51号

令和元年7月号
夏号

発行：北斗市社会福祉協議会

Hokuto City Social Welfare Information



レクリエーションボッチャ市民交流大会



1位 チーム なでしこ



2位 チーム 絆☆努力ASY



3位 チーム すいせん



主な記事

- 2P 福祉団体の活動、北斗はまなすグループ寄附
- 3P 日常生活自立支援事業、カラオケ大会募集、ピンバッチ募金
- 4P~5P 事業報告
- 6P 決算報告
- 7P 市民活動サポートセンター
- 8P かけはし

6月22日、北斗市スポーツセンターにて大野地区の住民を対象に、レクリエーションボッチャ市民交流大会がおこなわれました。子どもからお年寄りまで幅広い年齢の方が参加され、市民相互の交流を深めながら、白熱した大会となりました。10月12日(土)には、上磯地区の住民を対象に同大会を開催いたしますので、是非ご参加ください。(詳しくは7頁をご覧ください)

ホームページ <http://www.hokutosyakyo.net/>
メール info@hokutosyakyo.net

老人クラブ連合会交通安全該当啓発



北斗市老人クラブ連合会では、6月14日に北斗消防署前で交通安全街頭啓発運動を行いました。

街頭啓発は毎年6月におこなわれ、今回で13回目の開催となります。当日は、40名以上の参加者のもと「旗の波作戦」で交通安全を呼びかけました。

各地域の単位老人クラブでは、新規会員を随時募集しております。お住いの地域老人クラブに入会されたい方は社会福祉協議会事務局までご連絡ください。

身体障害者福祉協会 視察研修旅行



北斗市身体障害者福祉協会では、会員同士のさらなる親睦を図るため6月11日～12日洞爺へ視察研修旅行に行ってきました。

今年も最高の天候に恵まれ、参加された19名からは喜びの声や笑顔が溢れていました。

有珠山ロープウェイからの景色や入江高砂貝塚での研修では、皆さん話も弾み優雅な時間を過ごされていました。この2日間の視察研修は、非常に充実した時間となりました。

タオル等のご寄附ありがとうございます

北斗はまなす実行委員会様よりタオル等のご寄附をいただきました。この活動は永年、社会貢献の一環として実施されており、社会福祉協議会にご寄附いただいております。ご寄附いただいたタオル等は高齢者施設や保育園等で使っております。本当にありがとうございました。



チャイルドシート 寄附してください



不要になったチャイルドシートを寄附していただき、必要な方、希望者に利用していただいております。チャイルドシートが不要な方、必要な方は、下記までご連絡ください。

※要印鑑

(この事業は皆さまの善意で行われているボランティア事業です。破損品はお受け取りできません。)

南渡島ファミリー・サポート・センター

TEL/FAX 0138-77-0788

センター開設時間 午前9時～午後5時(月～金)

●北斗市社会福祉協議会では、ホームヘルパーを募集しています●

資格をお持ちの方ももちろんですが、資格がない方でも仕事ができます。資格がない方は、採用後に資格取得費用を助成します。2～3時間程度なら働ける方、家事援助ならできる方など、詳しくは北斗市社会福祉協議会訪問介護事業所にお問い合わせください。



【賃 金】 時給 840円～1500円

【お問い合わせ先】 北斗市社会福祉協議会 訪問介護事業所 74-2515(直通)

日常生活自立支援事業



社会福祉協議会では、日常生活自立支援事業を実施しています。この事業は、判断能力が不十分な方（認知症高齢者、知的障害者、精神障害等）が地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行います。

対象者・援助の内容

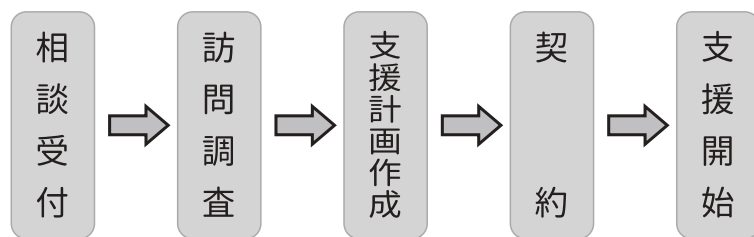
❖ 次のいずれにも該当する方 ❖

- ①判断能力が不十分な方
（日常生活上の判断に不安を感じている方）
- ②事業の契約について、理解・判断できると認められる方
- ③在宅で生活している方

❖ 援助の内容 ❖

- ①福祉サービスの利用援助事業
- ②日常的金銭管理サービス
- ③書類等の預かりサービス

手続きの流れ



（利用料：1回1時間程度 1,200円、交通費実費）



連絡先：北斗市社会福祉協議会 74-2500

ふれあい福祉まつり in 北斗

カラオケ大会出場者募集!



【開催日時・連絡先】
 場所・北斗市総合文化センター
 かなでる
 日時・令和元年9月21日(土)
 午前10時～午後2時
 連絡先・北斗市社会福祉協議会
 74-2500

9月21日に、ふれあい福祉まつり in 北斗が開催されます。昨年度も大好評をいただいたカラオケ大会を今年度も実施することとなりました。カラオケ大会を実施するにあたり、出場者を募集いたします。
 上位入賞者には豪華景品をご用意しております。また参加賞もごさいますので、この機会に歌声を披露してみませんか？
 たくさんの方のご参加をお待ちしております。参加ご希望の方は、左記連絡先までご連絡ください。



赤い羽根共同募金

北斗市共同募金委員会では、「赤い羽根」と「トラピスト修道院」、「ザーシーほっきー」がコラボしたピンバッチを製作しました。

このピンバッチは500円の募金で1個プレゼントしておりますが、製作費以外は共同募金として地域で活用されています。取り扱いにつきましては、北斗市社会福祉協議会、社会福祉協議会支所、七重浜支所で受け付けておりますので、ご協力お願い致します。

問 北斗市社会福祉協議会 74-2500



業 報 告

「ありのある福祉の地域づくり」を基本理念に、地域の皆様のご理解などを行ないました。(紙面の都合上、主な事業を掲載しました。)

【基本目標3】安心して暮らせる福祉のまちづくり

- ❖介護保険事業 居宅介護支援事業
《ケアプラン作成件数》 1,434件
- ❖介護保険事業 訪問介護事業
《延べ利用者》 1,052人 《利用回数》 10,114回
- ❖障がい者自立支援事業 訪問介護事業
《延べ利用者》 319人 《利用回数》 3,153回
- ❖福祉有償運送事業
介護を必要とする身体の不自由な高齢者などに対し、福祉車両による移送を行いました。
《延べ利用者》 607人
《利用回数》 1,357回
- ❖市の委託事業
- ☆除雪サービス事業
《実施世帯数》 526世帯
- ☆食の自立支援事業
《利用者実人数》 73人 《延べ利用者》 7,699人
《調理・配食》特別養護老人ホーム 清華園
- ☆移動支援サービス事業
《利用者実人数》 4人 《提供回数》 217回
- ☆南渡島ファミリー・サポート・センター運営事業
《依頼件数》 1,806件 《会員数》 814人
- ☆養育支援訪問事業
《支援実世帯》 3世帯 《訪問回数》 21回
- ☆産前・産後サポート事業
《利用者実人数》 15人 《提供回数》 140回
- ☆生活困窮者自立相談支援事業
生活困窮者や引きこもり、ニート、障害などで働くことに不安を抱えている人などに対し、地域において自立した生活が送れるよう、相談支援、就労準備支援及び家計相談支援事業を実施しました。
《相談支援件数》 440件
- ☆認知症初期集中チーム業務
市が実施する「認知症初期集中チーム」に社協職員を参加させ、認知症対策に取り組みました。
- ☆北斗市地域包括支援センター事業
要支援者等の自立を目指した取り組みとして、次の事業等を実施しました。
 - ・総合相談支援事業 《相談件数》 5,399件
 - ・権利擁護事業 《相談支援件数》 632件
 - ・虐待 《相談支援件数》 409件
 - ・介護予防マネジメント事業
《介護予防支援》 2,179人
《介護予防ケアマネジメント》 5,651件
 - ・包括的・継続的ケアマネジメント事業
《地域ケア会議、事例検討会等》 23回
 - ・地域づくり活動
《介護予防講座等》 113回
 - ・地域支援事業(訪問アセスメント) 31件
- ☆生活支援体制整備事業
地域資源の開発等を行うための生活支援コーディネー



- ター(地域支え合い推進員)を2名配置し、生活支援サービス等の基盤整備に取り組みました。
- ❖日常生活自立支援事業(北海道社協委託事業)
日常生活の判断能力に不安のある人に対し、生活支援員を配置し、生活支援を行いました。
《利用者》 3人 《支援回数》 73回
- ❖法人後見事業
判断能力が不十分なため、契約などの法律行為の意思決定が困難な人の能力を補うために、成年後見人に就任しました。
《受任件数》 1件
- ❖生活応急資金・生活福祉資金の貸付支援
低所得世帯の経済的自立と生活意欲の向上を図るため、必要な資金の貸付と相談支援を行いました。
☆生活応急資金の貸付(社協事業)
《貸付総額》 18件 995,000円 《相談件数》 130件
☆生活福祉資金の貸付支援(北海道社協委託事業)
《貸付申請》 5件 《相談件数》 87件

【基本目標4】組織体制の強化と基盤づくり

- ❖法人運営事業
 - ・正副会長会議の開催 4回
 - ・理事会の開催 5回
 - ・評議員会の開催 2回
 - ・監査の実施 4回
- ❖会員数の状況
社協の会員は次のとおりです。社協は、会員からの会費と公的機関の補助金等で運営しています。
 - ・戸別会員(町内会・自治会の会員) 14,104世帯
 - ・個人会員 211人
 - ・団体会員 58団体
 - ・特別会員 86町会
 - ・賛助会員 142事業所
 - 《会費総額》 4,536,800円
- ❖寄附金の状況
市民の皆様から寄せられた寄附金は、地域福祉事業の活動資金として活用しています。
《寄附金総額》 22件 1,836,337円
- ❖福祉人材の確保
社協が経営する訪問介護事業所等の人材を確保するため、介護職員人材育成支援事業助成金制度を設け、人材の確保と資質の向上に取り組みました。
- ❖北斗市共同募金委員会事務局
社協が共同募金委員会の事務局業務を担い、次の募金運動に取り組みました。
☆赤い羽根共同募金活動 《募金総額》 6,326,682円
募金額の約70%が次年度の地域福祉活動の資金として配分されます。
☆歳末たすけあい募金活動 《募金総額》 3,982,142円
募金の全額が歳末福祉見舞金や年末に行っている福祉五日ちらし事業、サンタクロース事業に使われています。
- ❖苦情処理への対応
介護保険サービス事業や社協が行う事業全般に対する苦情等を速やかに問題解決を図るために「苦情解決対策本部」を設置し、第三者委員による「苦情処理相談員」4名を地区ブロックごとに配置していますが、苦情はありませんでした。



平成30年度 事

北斗市社会福祉協議会では、「ともに支え合う、やさしさどめくも」とご協力をいただきながら、地域福祉活動や介護サービスの提供

【基本目標1】 みんなで支え合い・助け合う地域づくり

❖小地域ネットワーク活動推進事業

各町内会を単位として、一人暮らしの高齢者や障がい者等の見守り活動や日常生活支援活動に対し、活動費の助成を行いました。

《実施町内会》 86町会
《活動費交付金総額》 1,211,000円

❖サロン活動支援事業（市の委託事業）

高齢者などが気楽に出かけて仲間づくりなどができる「ふれあい・いきいきサロン活動」を推進し、サロンを定期的に開催して介護予防運動を取り入れている団体に対し、活動費の助成を行いました。

《助成団体数》 9団体

❖介護予防運動から始める地域づくり活動

☆ふまねっと運動普及事業（一部、市の委託事業）

住民同士が気楽に無理なく集える「ふれあい・いきいきサロン活動」による地域づくりの動機づけを図るため、「ふまねっと運動」の普及活動を行いました。

《実施団体》 29団体 《実施回数》 186回
《参加者数》 2,264人 《サポーター派遣人数》 597人

☆誰もが参加できる介護予防運動の普及活動

新たな介護予防運動として、レクリエーション感覚で楽しめるレクリエーションポッチャの普及に取り組みました。

《実施団体》 25団体
《実施回数》 45回
《参加者数》 807人



❖高齢者見守り活動等の充実

☆独居老人訪問活動事業

（福祉五目ちらし事業・サンタクロース事業）

民生委員や大野農業高校の生徒が贈り物を持って、70歳以上の一人暮らしのお年寄宅を訪問し、安否確認とふれあい活動を行いました。

・本所（上磯）地区
福祉五目ちらし事業
1,032世帯
・支所（大野）地区
サンタクロース事業
251世帯



☆歳末福祉見舞金事業

市民の皆様からの歳末たすけあい募金と福祉灯油使途指定寄附金を財源として、低所得世帯でひとり暮らしの高齢者やひとり親家庭に対し、歳末福祉見舞金を配分しました。

《配分金総額》 290世帯 3,480,000円
《福祉灯油寄附団体》 北斗市建設協会、北斗園友会

【基本目標2】 福祉の心を育む人づくり

❖社会福祉大会の開催

社会福祉事業功労者表彰及び多額寄附者への感謝状贈呈と、函館中央警察署員による「特殊詐欺防止」の寸劇のほか、介護エンターテイメントの石田竜生氏を講師に迎えて、「たくさん笑って介護予防」をテーマに、リハビリ体操にお笑いの体操を取り入れた講演会を開催しました。



❖ふれあい福祉まつりin北斗の開催

市民相互のふれあいと交流を深め、福祉活動に理解と関心を持っていただくことを目的に、北斗市総合文化センターかなで〜で福祉まつりを開催しました。



❖広報啓発活動の推進

社協の事業や福祉団体等の活動を理解していただくための啓蒙活動として、「社協だより」を4回発行し、町内会の協力を得て全戸配布しました。また、ホームページを開設し、各種情報を発信しました。

❖福祉講座

法テラス函館法律事務所の中谷文恵弁護士を講師に迎え、「消費者保護について」をテーマに、高齢者の消費者被害や特殊詐欺被害の現状と被害の拡大防止についての福祉講座を開催しました。

❖ボランティア体験研修

特別養護老人ホーム「清華園」に入所しているお年寄りに、上磯中学校の茶道部員がお点前を披露する、ボランティア体験研修を行いました。



❖市民活動サポートセンター事業

ふまねっと運動等の普及活動を行うボランティア団体「ほくねっと」等とともに、市民協働による「地域づくり」に努めました。また、当センターは、ボランティアセンターの機能を有するもので、提供会員と依頼会員同士による相互援護活動を支援しました。

《ボランティア紹介者数》 558人（8団体）
《新規ボランティア団体》 2団体（会員数71名）

❖福祉団体運営・活動支援

社協が次の福祉団体等の事務局業務を行い、運営の支援とともに、福祉団体には活動費の助成を行いました。

☆老人クラブ連合会・身体障害者福祉協会・母子寡婦会・遺族会・ボランティア連絡協議会

☆北斗市戦没者慰霊会・北斗市共同募金委員会

❖ボランティア団体活動支援

地域づくり活動や福祉教育活動等に取り組んでいる団体と学校等に対し、活動費の助成を行いました。

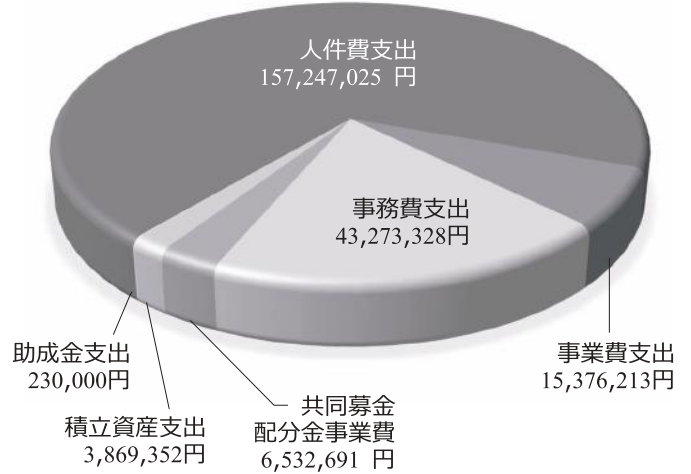
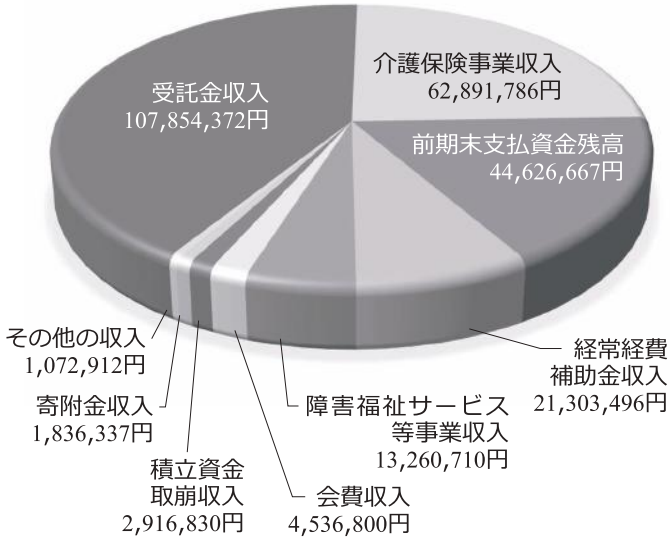
☆ボランティア団体数 5団体
☆ボランティア活動学校数 2高校

平成30年度 決算報告

(自) 平成30年4月1日 (至) 平成31年3月31日

収入の部 260,299,910円

支出の部 226,528,609円



■ 資金収支計算書

(単位：円)

勘定科目		法人全体	法人運営事業					内部取引消去
			法人運営事業	介護支援事業	指定管理事業	地域包括支援センター事業		
事業活動	収入	会費収入	4,536,800	4,536,800	0	0	0	
		寄附金収入	1,836,337	1,836,337	0	0	0	
		経常経費補助金収入	21,303,496	21,123,496	80,000	0	100,000	
		受託金収入	107,854,372	39,206,632	660,600	10,348,000	57,639,140	
		介護保険事業収入	62,891,786	0	53,307,386	0	9,584,400	
		障害福祉サービス収入	13,260,710	0	13,260,710	0	0	
		その他の収入	1,072,912	138,077	892,835	0	42,000	
	事業活動収入計	212,756,413	66,841,342	68,201,531	10,348,000	67,365,540		
	支出	人件費支出	157,247,025	35,899,873	66,711,898	0	54,635,254	
		事業費支出	15,376,213	3,206,391	2,208,783	4,944,394	5,016,645	
		事務費支出	43,273,328	25,477,752	6,694,864	5,420,998	5,679,714	
		共同募金配分金事業費	6,532,691	6,532,691	0	0	0	
		助成金支出	230,000	230,000	0	0	0	
事業活動支出計	222,659,257	71,346,707	75,615,545	10,365,392	65,331,613			
事業活動資金収支差額		▲9,902,844	▲4,505,365	▲7,414,014	▲17,392	2,033,927		
施設整備	施設整備等収入	0	0	0	0	0		
	施設整備等支出	0	0	0	0	0		
	施設整備等資金収支差額	0	0	0	0	0		
その他	その他の活動収入	2,916,830	6,582,000	0	0	316,830	▲3,982,000	
	その他の活動支出	3,869,352	1,779,277	3,114,250	0	2,957,825	▲3,982,000	
	その他の活動資金収支差額	▲952,522	4,802,723	▲3,114,250	0	△2,640,995	0	
当期資金収支差額合計		▲10,855,366	297,358	▲10,528,264	▲17,392	△607,068	0	
前期末支払資金残高		44,626,667	7,564,767	33,286,545	25,629	3,749,726	0	
当期資金収支差額		33,771,301	7,862,125	22,758,281	8,237	3,142,658	0	

※法人運営事業の当期末支払資金残高には、生活応急資金貸付事業の支払資金残高 5,485,883円が含まれています。

市民活動サポートセンター



市民活動サポートセンターでは、ボランティア活動や地域支援活動を行う皆さんをサポートし、地域づくりとその担い手の育成に取り組み、「住民同士が互いに助け合い・支え合うことができる地域づくり」を目指し、各種事業等に取り組んでいます。

ボランティア活動紹介



土谷さん

やわらぎ苑上磯にて、ボランティア活動されている土谷さんをご紹介します。



土谷さんは月に2回1時間半程度、デイケアに通っている利用者と一緒に麻雀を楽しまれています。



以前は、麻雀を行う利用者が3名しかいなく、出来ないことも多かったようですが、今では定期的に行っており、参加する皆さんも楽しそうに過ごされているそうです。

ふまねっとサポーター・インストラクター養成講習会受講者募集!!

地域の方にふまねっと運動を楽しく効果的に指導するための「ふまねっとサポーター」と、要介護認定を受けた高齢者の方に指導するための「ふまねっとインストラクター」の養成講習会を開催します。

- 【日時】 ●ふまねっとサポーター
10月20日(日)午前10時から午後5時
●ふまねっとインストラクター
10月21日(月)午前10時から午後4時30分
- 【場所】 北斗市保健センター
- 【定員】 各養成講習会30名(先着順)
- 【受講料】 サポーター 無料
(ただし資格登録料に2,000円かかります)
インストラクター 12,000円
- 【申込方法】 社会福祉協議会まで電話でお申し込みください。

レクリエーションポッチャ市民交流大会(上磯地区)のお知らせ!!

社協では、誰もが参加できる介護予防運動の普及として、子どもから大人まで一緒に楽しめる、パラリンピックの正式種目であるポッチャを簡単なルールにした「レクリエーションポッチャ」の普及活動を新たに行っています。

障がいの有無にかかわらず、同じフィールドで楽しみながら交流することができるポッチャを通して、あらゆる市民の地域参加や、市民相互の支え合い、つながり、絆づくりを広げることを目的に、レクリエーションポッチャ市民交流大会を開催いたします。

大会当日は、子どもから大人まで楽しむことができるよう「レクリエーションルール」を採用しますので、初めての方も楽しみながら参加できます。お友達やご家族、お孫さんを誘って是非ご参加ください。



日時 10月12日(土) 13時~17時まで
会場 北斗市総合体育館(押上1丁目3番1号)
参加料 無料 募集数 36チーム(先着順)

- ▷参加資格 上磯地区に居住、勤務、通学する小学生以上
※チーム登録人数は、3人から6人まで(試合は3人で実施。競技前であれば登録選手の中で交代可)
※小学生でチームを構成する場合、チーム内に保護者あるいは祖父母を1名入れ構成
- ▷競技方法 予選リーグの結果により決勝トーナメントを実施
- ▷申込方法 チーム名を決め、9月2日(月)までに、電話またはFAXで申込みください。
- ▷その他 参加者には行事用保険をかけますので、申込の際、氏名・住所・電話番号が必要になります。



ご相談・お問い合わせ先 市民活動サポートセンター(北斗市社協内) 電話74-2500 FAX74-3655



こんにちは

北斗市地域包括支援センター「かけはし」です！

『熱中症の時期です。気を付けていますか？』

○熱中症はどんなときになるの？

熱中症は、身体の中の水分や塩分のバランスが崩れたり、身体の体温の調整機能が正常に働かなくなることによって引き起こされます。

①暑いとき

一般的には、最高気温が25度を超えると起こり、30度を超えると熱中症で死亡する人の数が増え始めると言われています。

②湿度が高いとき

気温が低くても、湿度が高いと、汗が蒸発しにくくなり、熱中症の危険が高くなります。
例えば、気温が25度以下でも、湿度が80%以上あるときは注意が必要です。

③風が弱いとき

風が弱いときは、汗をかいても体にまとわりついて蒸発しにくくなり、体温を下げる効果を弱めてしまいます。



○どんな人がなりやすいの？

①高齢者

体温調節機能が低下しているため、体に熱がこもりやすくなります。また、暑さやのどの渇きを感じにくくなるなど、体から出しているSOSに気づきにくくなっています。このため、暑さ対策が遅れることもあり、熱中症が発生する危険性が高くなります。

②脱水症状の人

汗は血液中の水分と塩分から作られます。下痢や二日酔いなどで脱水症状の人は、熱中症の危険性が高くなります。

③体調不良の人

疲労や風邪などで体調不良の時は、体温調整機能が低下しています。

○どんな症状なの？どう対応すればいい？

熱中症の重症度は「Ⅰ度」「Ⅱ度」「Ⅲ度」の分類に分けられます。重症度に応じて対応も異なります。

「Ⅰ度」現場での応急処置で対応できる軽症

- ◆めまい、立ちくらみがある
- ◆筋肉のこむら返りがある
- ◆汗をふいても出てくる

「Ⅱ度」病院への搬送を必要とする中等症

- ◆頭がガンガンする（頭痛）
- ◆吐き気がする、吐く
- ◆体がだるい（倦怠感）

「Ⅲ度」入院して治療の必要性がある重症

- ◆意識がない ◆体をひきつける（けいれん）
- ◆呼びかけに対し返事がおかしい
- ◆まっすぐに歩けない、走れない

☆涼しい場所へ避難

風通しの良いところ、クーラーが付いているところへ避難しましょう。

☆服を脱がせて、とにかく冷やす

うちわや扇風機であおぐ、氷のうなどで首すじや脇の下などを冷やしましょう。

☆水分、塩分の補給

汗で失われた塩分も適切に補えるスポーツドリンクや経口補水液が最適です。

☆医療機関へ運ぶ

意識がない、自力で水分を摂取できないときはすぐに救急車を呼びましょう。

北斗市地域包括支援センター かけはし

北斗市中野通2丁目18番1号

電話 0138-74-2530

相談は
無料です

※北斗市地域包括支援センターは、北斗市から委託を受けている公的な相談機関です。
※秘密厳守のうえ、相談・支援にあたります。電話や来所相談のほか、ご自宅へお伺いします。
※どんなことでも構いませんので、気軽にご相談ください。

この広報紙は、赤い羽根共同募金配分金で作成されたものです。

◎北斗市社協だより◎
令和元年夏号（第51号）

発行
北斗市社会福祉協議会

（本所）北斗市中野通2丁目18番1号
☎ (0138) 74-2500
☎ (0138) 74-3655
（支所）北斗市本町4丁目3番20号
☎ (0138) 77-2941
☎ (0138) 77-8528